

第2回メモリアルグリーン指定管理者選定委員会議事録

■ 日 時

平成18年3月2日(木) 午後1時30分から4時30分まで

■ 場 所

関内駅前第2ビル2階特別会議室

■ 出席者等

(1)メモリアルグリーン指定管理者選定委員 5名

伊部委員長、前田副委員長、金子委員、田村委員、横田委員

(2)事務局

野村生活衛生部長、島田新墓園整備担当課長 外5名

■ 議事内容

1 開 会

2 議 事

(1) 応募状況等の報告

事務局から2月16日、17日に応募を受付、4団体の応募があったこと、A団体は、3法人によるグループ、C団体は2法人によるグループ、B、D団体は単独法人での応募であることを報告。

(2) 評価基準の確認

第1回選定委員会で決定された評価基準に基づき評価を行うが、5段階評価の3を標準として評価を行うことを改めて確認。

(3) 選考手順等について

具体的な選考手順について、次のとおり確認した。

- ① 提案内容とヒアリング、選定委員会での意見交換を踏まえて、評価基準に基づき各委員が採点する。
- ② 第3回選定委員会で、各委員が採点し、採点結果を委員の名前を伏し一覧表にまとめ、これをもとに委員会で議論する。
- ③ 原則として、得点の高い団体から、優先交渉権者、次点交渉権者を選定する。
ただし、「著しく評価の低い項目がある場合」、著しく妥当性を欠くと判断される評価により、得点順位が影響されたと委員会で判断した場合」は委員会で理由を明示し決定できるものとする。
- ④ 選定結果については、得点とあわせ、委員会での議論を踏まえた選定の考え方を講評としてまとめ、公表する。

(4) 応募者の資格等について

- ・事務局から、公募要項6(1)ウの要件が、B法人についてまだ確認できていないため、次回委員会までに確認できる書類の提出を求めることを説明し了承を得た。
その他要件については、各法人とも確認した旨説明した。
- ・財務状況について、B法人については、財務諸表上の数字の不整合等により、経営安定性等判断できない。他の法人については、特段問題とすべきことはない旨確認された。

(5) 応募者ヒアリング(ヒアリング順は受付順)

<ヒアリング内容要旨>

A 法人等

- ・自主事業は、いろいろ不確定な要素があると思うが、指定管理経費だけでも提案されている内容が実現可能か。

→公募要項の上限額の範囲内で実現可能な積算をし、最終的に5%削減し、自主事業は不確定な要素もあり管理経費に含めず計画をした。

- ・基本的な考え方の部分に横浜市のメモリアルグリーンの設置意義に関する部分が反映した記載がないのはなぜか。

→高齢者、人口増加等横浜市の墓地不足の問題は既知の前提として捉え省略した。

- ・緊急災害非難時の危機管理対策、個人情報保護対策について具体的な対策の明示がないが、具体的にまとめられているのか。

→独自の社内規定、ノウハウ、マニュアルも作成している。具体的な規定内容を公開すると自分たちのノウハウが外に出てしまうこともある。ただし、実際業務を担うことになった場合、横浜市と協議し具体的につめたい。

- ・自主事業で納骨代行225件、墓参代行50件等とされているが、この根拠は何か。

→民間霊園の管理委託などの経験からの想定値です。

- ・今回の今までの墓地と違う墓園をどのような考え方で運営するか。関連して市民協働の提案は具体的にどのような団体とどのようなことを展開するのか。

→墓園の立地条件、高層住宅と以前から住んでいる住民がいることから地域の方々との融合がポイントと思っている。そのため地域の方々との連絡協議会を設立して進めていく。管理組合、自治会、子供会、地域のNPO法人、周辺の農業者等との連携を進める。具体的な取り組みとして、早朝の散歩、ジョギング、地域の催し等で地域と一体となる墓園としたい。

- ・モニタリング、自己評価に客観的な第3者評価の導入を具体的に考えているのか。

→よく分かっているのは自分たち自身であり、セルフチェック、セルフモニタリングを

進める。第三者評価としては、横浜市等で行っていることがあれば、チェックを受けることも、また、地域の連絡協議会の活用も考えられる。

・御社にお願いすることとなった場合の企業としての決意と姿勢を一言で言うかどうか。

→自分たちの民間のノウハウを公共施設に活用し、コストを下げ、品質を上げるという民間のメリットを反映できればと考えている。

B 法人等

・管理経費として提示されている金額は、積み上げによるものか、その根拠は何か。

→細かく吟味しながら積み上げて、その数字となった。

・自主事業については不確定な要素があるが、これがなくても提案内容の事業を遂行できるか。

→この数字で努力できると判断した。

・管理事務所の人件費が自主事業と指定管理費の両方に計上されているのはどういう意味か。

→社の経理と調整しながら入れた。

・自主事業の金額が大きく、自主事業の運営に心配のところがあるかどうか。

→安心できるサービスを、無駄なコストをかけずに、ある程度のラインは確保できる。

・アウトソーシング部門が多いが、アウトソーシングで委託される会社とメモリアルグリーンの健全な運営という目的でどのように事業を構築していく考えなのか。

→霊園のコンピュータ管理システムなど得意としている分野は自分たちで行い、業務委託は収支バランスを考えて行う。

・市民協働を例にとって具体的に誰がどんなことを行うのか。

→実際に園内に参拝にこられた方には、私どもで、案内、必要な手配、納骨等各種手続きまで可能な範囲で当社のスタッフが対応する。

・新しいタイプの墓園として、特に緑の管理をどのように考えているのか、また、樹木の管理を市に移管し、とは、どの様なことを想定しているのか。

→新しいタイプの墓園なので、植栽管理については市の考えを中心に進めていくほうが良いとの趣旨で記載した。

・御社にお願いすることとなった場合の企業としての決意と姿勢を一言で言うかどうか。

→歴史に残る仕事であり、奉仕の精神で、自分たちが市民の立場で参拝に来ても憩える場にしたい。

C 法人等

・提案されている内容が提示されている指定管理経費で十分対応できるのか。

→指定管理経費について十分精査しており、管理費については団体のノウハウを活かしながらなるべく削減し、人件費については予算の枠の中で十分設定するという考え方で算出し

ており、十分可能である。

・自主事業について利益を還元することだがどの様な考え方か。

→公の施設の考え方を理解した上で自主事業を行い、利益を横浜市に還元するなどいろいろな形で利益を分配するという考え方である。

・この自主事業が認められなくても大丈夫との考え方か。

→横浜市との協議の中で認められないことも十分想定している。

・第一期の自主事業の予算が非常に多いと思うがどうか。

→第一期は芝生型墓地が集中的に供給され、それ以降は一定割合で供給されることに対応した形にした。

・芝生型の納骨業務の受付が30分単位のスケジュール管理で行うとなっているが、受付数が平日で100、土日祝日が200とあるが、どのような手順で行うのか。

→30分単位で3人一組で行い、集中するときは何組か組んで対応する。

・派遣等何らかの人員を臨時に考えているということか。

→最大200という場合は、派遣等を考えている。

・横浜市が示している業務フローの承継の事前指導や、改葬、分骨の届出の承認手続きなどは具体的にどのように考えているのか。

→横浜市の手続きフローを提示されているので、これに基づき適正に管理、助言をしていくと考えている。

・例えば傍系承継の事前審査や分骨の届出の承認は指定管理者が行うが、分骨で認められないケースはどの様なものを考えているのか。

→今想定できることはないが、今後半年間の中で経験者の配置や申請業務を勉強したい。

・自主事業の中で銘板の設置は設置数の全てを取り扱う積算となっているが、市民が直接業者に依頼するケースもあると思うが、どの様な考え方か。

→銘板をそのように積算をしているが、もう少し少なくなることは十分考えられる。

・現金有価証券の総合保険とデータベースの経費が自主事業の支出に計上されているのはなぜか。

→現金保険は公募書類の中で別途委託契約を結ぶとあったので、自主事業の中で計上した。データベースは、基本のデータベースがはっきり示されていないので、プラスアルファの利用者サービスを行うことを想定したもの。

・今回の墓園で市民参加や市民協働を行うのにどのような点が重要と考えているのか。

→バラを中心とした緑を活用した活動、維持管理の中での関わりや例えば臨時駐車場の脇に植栽スペースを設けて地域住民に提供するなど。トータルでは全市民的な考え方として障害者雇用などを進めたい。

・墓園を初めてということで、自己評価という視点をどの辺にしているのか。また、第三者評価を何か考えているのか。

→経験がないことから、立ち上げ等にあたって墓園等の経験のある方々に協力いただき、

評価については、公的な霊園とベンチマークの考え方でいろいろ比較し評価につなげていく。

・御社にお願いすることとなった場合の企業としての決意と姿勢を一言で言うかどうか。
→指定管理者制度に全力で取り組んでおり、人・もの・金は全てつぎ込み情熱を持って取り組む。

D 法人等

・指定管理経費の市の上限額に対し、提示されている指定管理経費はそれを超えて、自主事業を見込んで上限額以下になる提示がなされているが、自主事業がない場合上限予算内で収まるのか。自主事業は不確定と思うが。

→収入が見込まれる事業、指定管理経費を含めトータルで考え収支を出した。自主事業の収入が上がらなければそれに対応する支出が減るという形になっている。最終的には諸経費を計上しており、その部分が減額される。

・減額はどのくらいか。

→400万円です。

・積算資料がないが、指定管理経費は積み上げに基づいたものか。

→細かい数字から積算しているが、提案資料が公開となっているので、発注先又は業者に予定価格が分かってしまうので細かな積算は載せなかった。

・今回の墓園の市民参加、市民協働を成功させる上での課題はどのように考えているか。

→今回の墓園はイメージも明るく開放的で公園と類似した手法を利用できる。周辺住民は自治意識も高く社会貢献意識の高い方が多いと考えており、それとの連携。また、周辺に花卉農家もあり、協働で花を植えるなど地域との連携が可能と考えている。

・指定管理者の典例施行権とあるが、祭祀主宰者にあるのではないか。

→多種多様な宗教観に配慮した運営をする意味で用いた。

・例えば傍系承継の事前審査や分骨の届出の承認は指定管理者が行うが、分骨で認められないケースはどの様なものを考えているのか。

→現在お話できる段階にない。申請関係の取り扱いなどは今後横浜市と協議の上整理していくと考えている。

・マニュアルを整備しとあるが、これから整備するということか。

→これから整備する。

・貴団体は墓地の管理はしていないが、墓園管理を考えられた理由は。

→メモリアルグリーンは緑の豊かさというものをポイントとしているので、私どもの事業実績としてアピールできること、今後の事業展開の幅を広げることになると考えることなど。

・御社にお願いすることとなった場合の企業としての決意と姿勢を一言で言うかどうか。

→公営墓地への市民の信頼性の確保、公平性、収支の透明性、個人情報管理の徹底など

を着実にを行うこと。地域との調和を図るため清潔感の創出、市民協働等地域との一体感を醸成するよう取り組みたい。

(6) その他

- ・意見交換はヒアリングを踏まえ改めて各法人等の書類を各委員がチェックし、第3回委員会に各委員の評価を踏まえて行うこととした。
- ・第3回委員会は3月16日(木)16:00~開催する。